

常任指揮者: ティエリー・フィッシャー

**名フィル**  
Nagoya Philharmonic Orchestra since 1966

**THIERRY FISCHER**  
Nagoya Philharmonic Orchestra  
CHIEF CONDUCTOR



【指揮】ティエリー・フィッシャー〈常任指揮者〉  
Chief Conductor: Thierry FISCHER



【ピアノ】北村朋幹\*  
Piano: Tomoki KITAMURA\*

名古屋フィルハーモニー交響楽団

# 第369回 定期演奏会

2010.4-2011.3シーズン  
〈「都市と音楽」シリーズ〉  
バーゼル

Nagoya Philharmonic Orchestra The 369th Subscription Concert  
2010.4-2011.3 Season 'Basel' from "City and Music Series"

2010 **5.14** (金) **5.15** (土)  
6:45pm 開演 4:00pm 開演  
(6:00pm 開場) (3:15pm 開場)  
May 14 (Fri.) 6:45pm May 15 (Sat.) 4:00pm

愛知県芸術劇場コンサートホール  
Aichi Prefectural Art Theater Concert Hall

2010  
名古屋  
開演  
400年  
ハ

オネゲル: 交響曲第4番『バーゼルの喜び』  
A. Honegger: Symphony No.4 "Deliciae Basiliensis"

ラヴェル: ピアノ協奏曲ト長調\*  
M. Ravel: Piano Concerto in G major\*

ショスタコーヴィチ: 交響曲第5番二短調 作品47  
D. Shostakovich: Symphony No.5 in D minor, Op.47

特別協賛: サンゲツ

1回券料金(税込)

S席 ¥7,000 A席 ¥6,000 B席 ¥5,000  
C席 ¥4,000 D席 ~~¥3,000~~ 完売  
Y席 ¥1,000 (24歳以下対象、当日窓口販売のみ)

1回券発売日

2010年3月3日(水)

割引

いきいき割引 / S~D席を20%割引  
65歳以上、障害者手帳をお持ちの方(介添人1名様まで可)対象  
ユース割引 / S~D席を20%割引  
24歳以下の方(学生・社会人を問いません)対象  
※大学生協でも取扱  
車椅子席 / A席を20%割引(¥4,800) ※要事前予約

チケットお申込み・お問合せ

名フィル・チケットガイド  
Tel.052-339-5666

<http://www.nagoya-phil.or.jp/> 名フィル 検索

主催: 財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団  
後援: 愛知県・愛知県教育委員会・名古屋市・名古屋市教育委員会・財団法人名古屋市文化振興事業団・中日新聞社・中部日本放送

## Profile

指揮

### ティエリー・フィッシャー 〈常任指揮者〉

Chief Conductor  
Thierry FISCHER

1957年生まれのスイス人指揮者。2008年4月、名フィルの常任指揮者に就任。

フルートをオーレル・ニコレに師事し、ハンブルク州立歌劇場とチューリヒ歌劇場の首席フルート奏者としてキャリアをスタート。ニコラウス・アーノンクールにスコアを学び、強い影響を受ける。体調不良の指揮者の代役としてデビューし、最初のいくつかのコンサートでは、自身がクラウディオ・アバドの下で首席フルート奏者を務めていたヨーロッパ室内管を指揮。アバドは指揮という自身にとっての新たな才能を励ましてくれた。オランダで経験を積み、ヨーロッパの一流オーケストラに出演している。

BBCウェールズ・ナショナル管の首席指揮者就任披露公演では、フローラン・シュミット「詩篇47番」を指揮。また2007年にアメリカ・ツアーを行ない、素晴らしい評価を受けた。今後はBBCプロムスへの出演や、音楽祭などの計画がある。

2009年9月からはユタ交響楽団の音楽監督に就任している。

タッチの軽さとテクスチュアの明瞭さが優れた特徴であり、それが彼の独特な解釈をもたらしている。鋭い様式感覚を持ち、バッハ、古典派、初期ロマン派から新ウィーン楽派、フランス印象主義にわたる広範なレパートリーに新鮮なアプローチをもたらしている。



ピアノ

### 北村 朋幹

Piano  
Tomoki KITAMURA

1991年愛知県に生まれる。

2005年「第3回東京音楽コンクール」第1位、全部門共通の審査員大賞を受賞。2006年「第6回浜松国際ピアノコンクール」にて第3位受賞。2007年には「〈東京の夏〉音楽祭」や「中之島国際音楽祭」に参加。また「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン〈熱狂の日〉音楽祭」には2007年より毎年出演。2008年「第9回シドニー国際ピアノコンクール」に最年少で出場、第5位と3つの特別賞を受賞。2009年1月、フランス・パリ市内2ヶ所にてリサイタルを行なう。

これまでに大友直人、小林研一郎、円光寺雅彦、キリル・カラビッツ、下野竜也、沼尻竜典、ヤクブ・フルジャ、ゴロー・ベルク、松尾葉子、ニコラス・ミルトン、山下一史の各氏指揮による、シドニー響や日本の主要オーケストラと共演。2009年6月には名フィル定期に初出演、ティエリー・フィッシャーの指揮のもと、モーツァルトのピアノ協奏曲第9番『ジュノーム』を演奏し、斬新な新作カデンツァと音楽に対する感度の高さで絶賛された。

その他、テレビ朝日系「題名のない音楽会21」（2004年9月、2005年2月・9月、2007年3月）、NHK「びあのピア」（2007年9月・10月・12月）に出演。

愛知県立明和高等学校音楽科3年在学中。2010年3月卒業予定。



## <「都市と音楽」シリーズ>聴きどころ 第369回定期演奏会 「バーゼル」

..... 柴田 克彦 (音楽ライター)

5月は、フィッシャーの勝負プロ。母国スイスの「バーゼル」は、かつてザッハー率いる室内管が幾多の名作を世に出した“新古典主義の牙城”。そこで、作風明快な“20世紀の古典”が披露される。スイスの大家オネゲルの『バーゼルの喜び』は、清冽な逸品。これをオネゲルの理解者フィッシャーの指揮で聴けるのは嬉しい。ショスタコーヴィチの5番では、彼の明晰な再構築によって、おなじみの名曲が耳新たな音楽へと生まれ変わる。そしてラヴェル（父はスイス人）の協奏曲には、名古屋が誇る精鋭・北村朋幹が出演。フィッシャーとは既に2009年6月定期で共演しており、今回はマエストロお得意のモダン音楽における鮮烈なソロに期待が膨らむ。またこのプログラムは東京公演の演目でもある。その意味においても勝負がかりだ。

### その他のチケット取扱

チケットぴあ (Pコード:349-487).....0570-02-9999  
愛知芸術文化センター内プレイガイド...052-972-0430  
ナディアパークプレイガイド.....052-265-2015  
市内主要プレイガイド、大学生協でも取扱



### 託児サービス 1名様¥1,000

未就学児童(満1歳以上)対象、要事前予約  
お申込み:ポピンズサービス名古屋  
Tel. 052-541-2100  
(演奏会の3日前(土・日・祝をのぞく)まで受付)

※未就学児童のご入場は、保護者同伴の場合でもご遠慮ください。  
※お申込みいただいたチケットのキャンセル・変更は受付いたしていません。  
※やむを得ぬ事情によって、出演者・曲目などを変更する場合がございます。  
あらかじめご了承ください。

本紙は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



## 愛知県芸術劇場 コンサートホール

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2  
愛知芸術文化センター4F

地下鉄東山線・名城線「栄」駅より徒歩2分  
名鉄瀬戸線「栄町」駅より徒歩2分

<http://www.aac.pref.aichi.jp/>